



## ロケーション階層

---

この章では、ロケーション階層の設定方法について説明します。

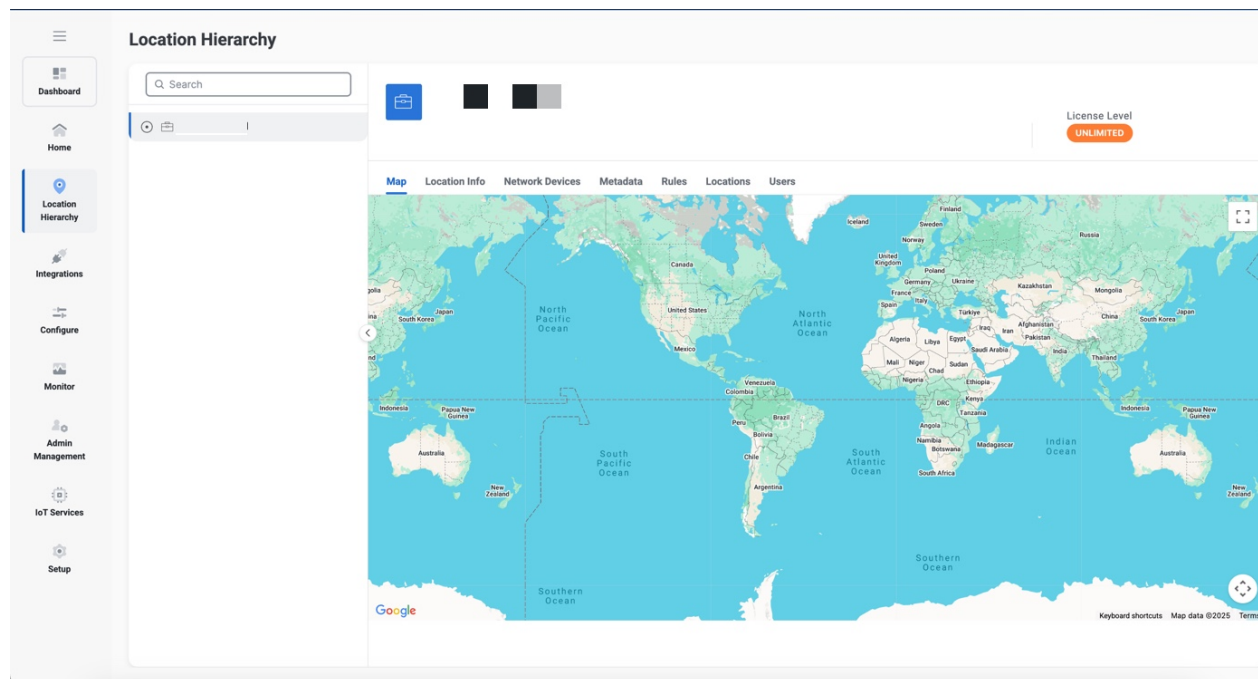
- [ロケーション階層 \(1 ページ\)](#)
- [ロケーション情報の表示 \(3 ページ\)](#)
- [ロケーション情報の更新 \(7 ページ\)](#)
- [ネットワークデバイスの表示 \(9 ページ\)](#)
- [メタデータの設定 \(10 ページ\)](#)
- [ロケーションの表示 \(11 ページ\)](#)
- [ユーザーの表示 \(12 ページ\)](#)

## ロケーション階層

**[Location Hierarchy]** 機能により、Cisco AireOS ワイヤレスコントローラ、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラ、Cisco Meraki などのワイヤレスネットワークで定義したものと同一構造のロケーションを簡単にインポートできます。

Cisco Prime Infrastructure または Catalyst Center からインポートされたマップで定義されている階層構造が自動的にロケーション階層に反映されます。

**[Location Hierarchy]** ウィンドウでは、デフォルトの顧客名 (ルートロケーション) が自動的に選択され、**[Map]** タブにはマップにロケーションが表示されます。



**[Location Hierarchy]** ウィンドウの左側のペインには、インポートされたルートロケーションとデフォルトの顧客名（ルート名）が表示されます。プラス記号をクリックすると、階層を展開して表示できます。ルートロケーションにある建物と関連するフロアを表示できます。

左側のペインからルートロケーションを選択すると、キャンパス、建物、グループ、フロア、ゾーンの数に関連する追加情報も表示できます。

選択したロケーション、建物、またはフロアに関する追加情報が以下のタブに表示されます。

- **[Map]** : マップ上で選択したロケーションを表示します。
- **[Location Info]** : ロケーションデータ情報を表示します。
- **[Network Devices]** : 接続されているネットワークデバイスと実行中のデバイスをすべて表示し、これらのデバイス数を表示します。
- **[Metadata]** : 設定されたメタデータ情報を表示します。
- **[Locations]** : ロケーションノードを表示します。
- **[Users]** : ユーザーを表示します。
- **[License Usage]** : ライセンスタイプ、アクセスポイント、Webex デバイス、Meraki カメラ、ロケーション、および建物単位の情報を表示します。

**[Location Hierarchy]** ウィンドウでは、次の追加タスクを実行できます。

- **[Search]** : **[Search]** フィールドにロケーション名を入力し、**[Enter]** キーを押します。検索語は4文字以上にする必要があります。**[Recent Searches]** エリアには、検索結果が表示されます。

- **[Rename]** : ロケーションの横にある3つのドットをクリックし、**[Rename Location]** をクリックしてロケーション名を編集します。
- **[Delete]** : ロケーションの横にある3つのドットをクリックし、**[Delete Location]** をクリックして、**[Location Hierarchy]** からそのロケーションを削除します。

**[Location Hierarchy]** は、特定のフロアでリッチマップが利用可能な場合、それらが表示されます。リッチマップをアップロードするオプションは、現在、Cisco Spaces サポートチームによって管理されています。**[3D]** トグルボタンをクリックすると、2D フロアマップと 3D フロアマップを切り替えることができます。

**[Location Hierarchy]** には、Cisco Spaces ユーザーがアクセスできるロケーションのみが表示されます。これらのロケーションへのアクセス可能性は、ロールを作成または編集するか、**[Administration Management]** で Cisco Spaces ユーザーを招待または編集するときに定義されます。

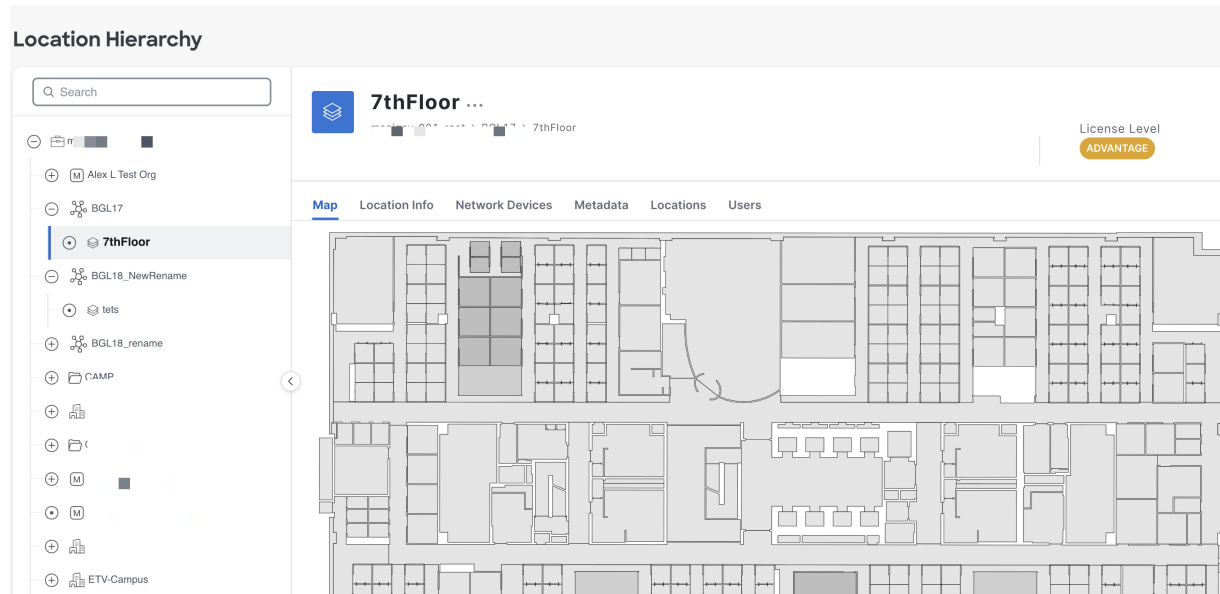
## ロケーション情報の表示

**[Map]** タブ (**Cisco Spaces [dashboard > Menu icon (☰) > Location Hierarchy > Root Location]**) を使用して、マップ上に選択したロケーション、キャンパス、建物、およびフロアを表示します。


ルートロケーションを選択すると、デフォルトの世界地図が表示されます。

ただし、場合によっては、自動的にマップ上の正確な位置にズームインされ、プロッターアイコンとともに表示されます。プロッターアイコンをクリックすると、ロケーションアドレス、総面積、最大キャパシティ、タイムゾーンの詳細などの追加情報を表示できます。正確な位置は、緯度と経度の情報に基づいてプロットされます。

図 1: マップタブ



建物を選択すると、デフォルトの世界地図が表示されます。

フロアを選択すると、正確なフロアマップイメージが表示されます。ポリゴンツール (  ) を使用してゾーンを作成します。詳細については、[ゾーンの作成 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

選択した場所に応じて、次の情報が表示されます。

- マニュアルの構成
- キャンパス
- 建物
- フロア
- ゾーン
- アラート (Alerts)



## ゾーンの作成

[Map] タブを使用して、[Location Hierarchy] に Cisco CMX ゾーンを作成します。



(注) 現在、Cisco Meraki のゾーンベースレポートは、[Right Now] アプリケーションおよび [Firehose] デバイスのロケーション更新イベントでのみサポートされています。

### 手順

- ステップ 1** Cisco Spaces にログインします。
- ステップ 2** Cisco Spaces ダッシュボードで、[Menu] アイコン (  ) をクリックし、[Location Hierarchy] を選択します。  
[Location Hierarchy] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** 左側のペインで、必要なフロアの場所へ移動します。  
フロアマップが表示されます。
- ステップ 4** マップ上のポリゴンツール (  ) をクリックします。  
カーソルがプラスのアイコンに変わります。
- ステップ 5** 必要なマップエリアをクリックし、カーソルを移動して、選択した多角形のゾーンを描画します。
- ステップ 6** ダブルクリックして、ゾーンの作成を完了します。

右側のペインにポップアップウィンドウが表示されます。

**ステップ 7** [Zone Name] フィールドに、ゾーンの名前を入力します。

**ステップ 8** ゾーンを区別するオーバーレイカラーを選択します。


**ステップ 9** [Save] をクリックします。

- 新しいゾーンが作成され、[Location Hierarchy] ウィンドウが更新され、ルートロケーションが表示されます。
- 左側のペインで、新しいゾーンを作成したフロアに移動すると、Cisco CMX ゾーンがフロア階層の下に新しい項目として表示されます。

**ステップ 10** (オプション) ゾーンの詳細を更新するには、マップ上のポリゴンアイコンをクリックします。

---


## フロアロケーションのゾーンの作成

ロケーション階層では、Cisco Meraki ネットワークの下にフロアロケーションのポリゴンゾーンを作成できます。フロアマップにポリゴンゾーンを作成するには、[Map] タブのフロアマップビューで使用できるポリゴンツール (  ) を使用します。作成された新しいポリゴンゾーンは、[Location Hierarchy] の下に表示されます。

### 手順

---

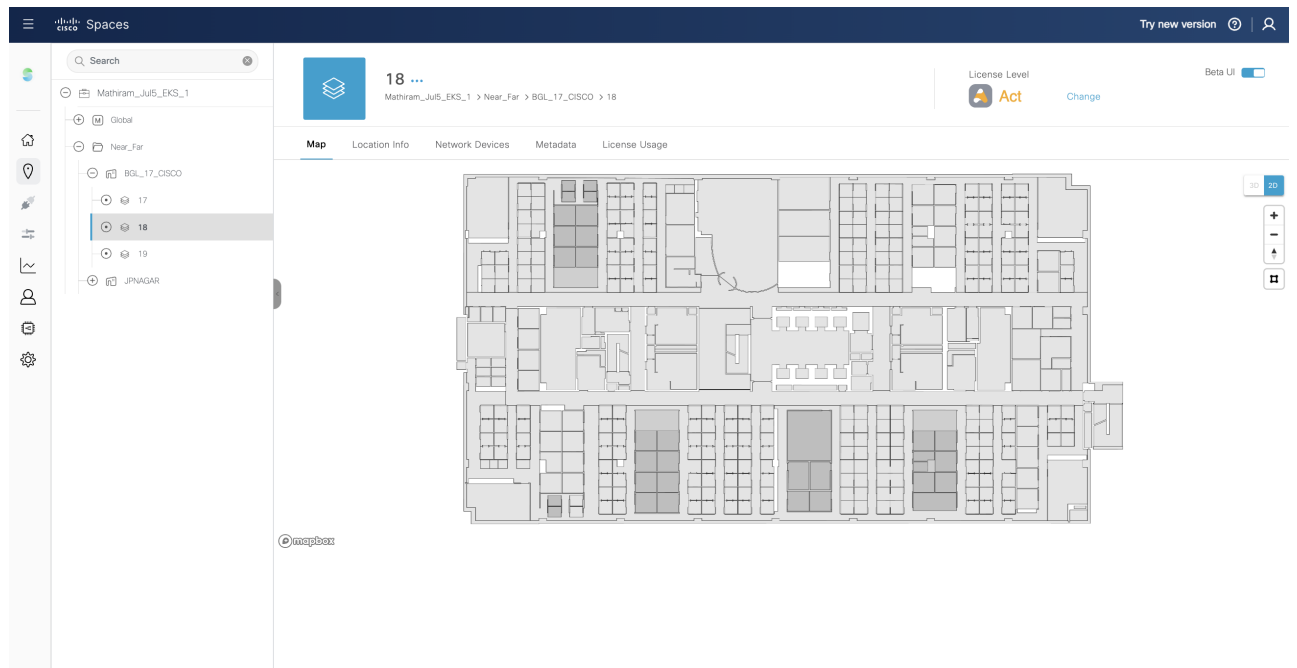
**ステップ 1** Cisco Spaces にログインします。


**ステップ 2** Cisco Spaces ダッシュボードで、[Menu] アイコン (  ) をクリックし、[Location Hierarchy] を選択します。

[Location Hierarchy] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 左側のペインで、必要なフロアの場所に移動します。  
フロアマップが表示されます。

図 2: マップタブ



**ステップ 4** マップ上のポリゴンツール (  ) をクリックします。

カーソルがプラスのアイコンに変わります。

**ステップ 5** 必要なマップエリアをクリックし、カーソルを移動して、選択した多角形のゾーンを描画します。

**ステップ 6** ダブルクリックして、ゾーンの作成を完了します。


右側のペインにポップアップウィンドウが表示されます。

**ステップ 7** **[Zone Name]** フィールドに、ゾーンの名前を入力します。

**ステップ 8** ゾーンを区別するオーバーレイカラーを選択します。

**ステップ 9** **[Save]** をクリックします。

- 新しいゾーンが作成され、**[Location Hierarchy]** ウィンドウが更新され、ルートロケーションが表示されます。
- 左側のペインで、新しいゾーンを作成したフロアに移動すると、そのゾーンがフロア階層の下に新しい項目として表示されます。

**ステップ 10** (オプション) ゾーンの詳細を更新するには、マップ上のポリゴンツール (  ) をクリックします。

## ロケーション情報の更新

ロケーション情報を表示および編集するには、[Location Info] タブ（Cisco Spaces [dashboard > Menu icon (☰) > Location Hierarchy > Root Location]）を使用します。

選択したロケーションについて、[Node Type] と [Network Reference] の詳細が表示されます。

図 3: ロケーション情報タブ

The screenshot shows the 'Location Info' tab in Cisco Spaces. It displays two nodes: 'ROOT' under 'NODE TYPE' and 'qasetupv2test1' under 'NETWORK REFERENCE'. Below this is a 'Location Data' section with an 'Edit' link. A yellow warning banner states: 'Note: Some location data fields are inherited from its parent location. Inherited fields are highlighted in orange color. We strongly recommended you to update location data for each location separately to avoid discrepancy.' Below the banner is a table of location data:

Brand	Testing
Total Area	100 Square Feet
Occupancy Limit (MAX CAPACITY)	11
Country	NA
State	NA
City	Hosur
Zipcode	635126
Latitude	NA
Longitude	NA
Time Zone	Asia/Dubai

[Edit] をクリックしてロケーション情報を更新します。詳細については、[ロケーション情報の編集 \(7 ページ\)](#) を参照してください。



(注) 親ロケーションから継承したロケーションデータフィールドはオレンジ色で強調表示されません。不整合を避けるために、ロケーションデータはロケーションごとに個別に更新することを強く推奨しています。

## ロケーション情報の編集

### 手順

ステップ 1 Cisco Spaces にログインします。

ステップ2 Cisco Spaces ダッシュボードで、[Menu] アイコン (☰) をクリックし、[Location Hierarchy] を選択します。

[Location Hierarchy] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 左側のペインで、必要な場所へ移動します。

ステップ4 [Location Info] タブをクリックします。

ステップ5 [Location Data] の横にある [Edit] をクリックします。

スライドインウィンドウが表示されます。

ステップ6 必要に応じて、以下のロケーション情報を更新します。

- a) [Location Name] : ロケーションの名前を編集します。
- b) [Brand] : ブランド名を編集します。
- c) [Total Area] : 合計エリアの詳細を編集します。
- d) [Unit] : 入力される合計エリアの単位を選択します。オプションは [Square Feet] および [Square Meter] です。
- e) [Occupancy Limit (Max Capacity)] : 占有制限/最大キャパシティの詳細を編集します。
- f) [Address] : アドレスの詳細を入力し、表示されるオプションから選択します。選択したアドレスは、右側に表示されるマップにプロットされます。
- g) [Latitude] : 選択したアドレスの緯度を表示します。この値は編集できません。
- h) [Longitude] : 選択したアドレスの経度を表示します。この値は編集できません。
- i) [Time Zone] : [Search Timezone] フィールドに検索語を入力し、使用可能なオプションから検索または選択します。

ステップ7 [Save] をクリックします。

---

## アクセスポイントプレフィックスの編集

複数のプレフィックスを持つ AP をネットワークに追加できます。たとえば、プレフィックスが AB、BC、および CA の AP があり、AB および BC の AP を 1 つのワイヤレスネットワークにグループ化する場合、それが可能です。

[Access Points Prefix Used] オプションは、ネットワークロケーションでのみ、[Location Info] タブで使用できます。ただし、[Access Points Prefix Used] オプションを [Unconfigured] のネットワークに使用することはできません。

複数のプレフィックスを持つ AP を、シスコワイヤレスコントローラまたは Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラのネットワークに追加するには、次の手順を実行します。

### 手順

---

ステップ1 Cisco Spaces にログインします。

**ステップ 2** Cisco Spaces ダッシュボードで、[Menu] アイコン (☰) をクリックし、[Location Hierarchy] を選択します。

[Location Hierarchy] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 左側のペインで、必要なネットワークに移動します。

**ステップ 4** [Location Info] タブをクリックします。

**ステップ 5** [Access Point Prefix Used] の横にある [Add/Edit] をクリックします。

**ステップ 6** [Add/Edit Prefix] ウィンドウの [Prefix] フィールドに、プレフィックスを入力します。

入力されたプレフィックスを持つアクセスポイントが一覧表示されます。

**ステップ 7** [プレフィックスの追加 (Add Prefix)] をクリックします。

新しく追加されたプレフィックスが、ウィンドウの右側のペインの [Added Prefixes] の下にリストされます。[Add Prefix] は、入力されたプレフィックスを持つ AP が利用できる場合にのみ有効です。

**ステップ 8** [Save] をクリックします。

プレフィックスを追加した後、未設定のネットワークの下にある、このプレフィックスを持つ AP がこのネットワークに移動します。

プレフィックスを削除するには、[Added Prefixes] の下にあるプレフィックスにカーソルを合わせ、[Delete] アイコンをクリックします。

---

## ネットワークデバイスの表示

[Network Devices] タブ (Cisco Spaces [dashboard > Menu icon (☰) > Location Hierarchy > Root Location]) を使用して、選択したノードの下にある全ネットワークデバイスを表示します。ルートロケーションには、ロケーション階層内で使用可能なすべての接続済みデバイスが表示されます。

選択した場所に応じて、次の情報が表示されます。

- **[Access Points]** : AP の名前、MAC アドレス、およびロケーション階層パスを表示します。特定の AP を検索するには、[Search Table] フィールドを使用します。階層パスをコピーするには、[Location] フィールドの横にあるコピーアイコンをクリックします。[Setup] ウィンドウに移動して、AP を設定します。
- **[Cameras]** : カメラ名、シリアル番号、MAC アドレス、トリップワイヤのステータス (設定/非設定) など、接続されたカメラの詳細を表示します。特定のカメラを検索するには、[Search Table] フィールドを使用します。[Connect your Meraki Camera] : ウィンドウに移動して、追加のデバイスを接続します。
- **[Security Appliances]** : それぞれの場所でのセキュリティアプライアンスデバイスの詳細なリストを表示します。

- **[Webex Devices]** : 接続されている Cisco Webex デバイスを表示します。
- **[Linked Devices]** : このロケーションに設定されているリンクされたデバイスを表示します。IoT デバイス、非 Webex サイネージ、およびスマート PUD をリンクできます。

## メタデータの設定

メタデータ情報を表示するには、**[Metadata]** タブ (**Cisco Spaces dashboard > Menu icon (☰) > Location Hierarchy > Root Location**) を使用します。メタデータがまだ設定されていない場合は、**[Add Metadata]** をクリックしてメタデータを追加します。詳細については、[メタデータの追加 \(10 ページ\)](#) を参照してください。

図 4: **[Metadata]** タブ

Metadata Key	Value	Actions
ID	10	✎ ✖
Name	Test Metadata	✎ ✖

選択した場所に応じて、次の情報が表示されます。

- **[Metadata Key]** : メタデータキーを表示します。
- **[Value]** : メタデータキーの値を表示します。値には英数字と特殊文字も使用できます (例: xyz123@)。

## メタデータの追加

### 手順

**ステップ 1** Cisco Spaces にログインします。

**ステップ 2** Cisco Spaces ダッシュボードで、**[Menu]** アイコン (☰) をクリックし、**[Location Hierarchy]** を選択します。

[Location Hierarchy] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 左側のペインで、必要な場所に移動します。

ステップ4 [Metadata] タブをクリックします。

ステップ5 [Add Metadata] をクリックします。

ステップ6 [Key] フィールドに、メタデータキーを入力するか選択します。

ステップ7 [Value] フィールドにキーの値を入力します。

ステップ8 (オプション) [Add Metadata] をクリックして、複数のメタデータキーと対応する値を追加します。

キーを削除するには、メタデータキーの横にある [Delete] アイコンをクリックします。

ステップ9 [Save] をクリックします。

新しいメタデータキーと値が [Metadata] タブに表示されます。[Edit] アイコンをクリックして、キー情報を更新します。

## ロケーションの表示

[Locations] タブを使用して、(Cisco Spaces [Dashboard > Menu icon (☰) > Location Hierarchy > Root Location]) を使用して、[Location Type] や [Level] などのロケーション情報を表示します。

[Location Type] と [Level] ドロップダウンオプションを使用して、ロケーション設定を選択します。ロケーションタイプは次のとおりです。

- Network
- キャンパス
- Group
- マニュアルの構成

選択したロケーションについて、次の詳細を表示します。

- ロケーション
- AP
- Camera
- 最大キャパシティ
- 総面積 (平方フィート)
- Time Zone

ロケーションの横にある必須のチェックボックスをオンにして、[Create Group] をクリックしてロケーションを追加し、独自のグループを作成します。

## ユーザーの表示

[Users] タブ (Cisco Spaces [Dashboard > Menu icon (☰) > Location Hierarchy > Root Location]) を使用して、ユーザーとそのロール権限を表示します。

次の詳細の表示

- ユーザー
- Role
- 権限：読み取りと書き込み
- 権限：読み取り専用
- ロケーション

[Search] オプションを使用してユーザーを検索します。ユーザーをクリックすると、[Admin Management > Edit User] ウィンドウで権限設定を編集できます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。